

20151026

2015年10月26日 日本テレビ 定例記者会見

《 要旨 》

＜発表＞

・映画「俺物語！！」公開

累計 400 万部突破の人気コミックを実写化した映画「俺物語！！」（主演 鈴木亮平）は10月31日土曜日から公開。ぜひ劇場に足を運んで観ていただきたい。

・「カラダWEEK」キャンペーンについて

11月9日から「カラダWEEK」を展開する。これは健康をテーマに番組を展開するもので、今年が初めての取り組みである。健康・美容・食生活・トレーニング・医療など、多角的な視点で視聴者の皆様に「カラダ」について考える”キッカケ”を作るキャンペーンで、日本テレビの20番組以上が参加し「カラダ」をテーマに番組を展開していく。

1. 視聴率動向と編成戦略

・視聴率データ

先週の視聴率は4週連続の三冠王、年間では39回目、年度では28回目の獲得だった。

・10月期の編成について

ドラマが3枠スタートした。水曜ドラマと土曜ドラマは2枠を維持している。日曜ドラマは3回目で1枠になったが、中身自体は大変面白いので、今後視聴率が上がると期待している。他には、ラグビーのワールドカップで日本代表が非常に素晴らしい成績を挙げて、私たちも、その放送に携われたことについて、非常に光栄に思っている。

2. 営業状況

・放送収入

単月では、スポットの10月の市況は厳しかったが、日本テレビは前年同月を少し上回ることができた。上半期については来月の決算発表で詳細を申し上げるが、シェアについてもまずまずの結果だった。

・放送外収入

映画は「ヒロイン失格」が想定を上回る動員を実現した。9月19日から10月25日までの37日間でおよそ190万人がご覧になった。それから7月に公開が始まった「バケモノの子」は、ほぼ興行は終了したが、450万人を超える観客動員を実現して興行収入も相当高い水準で終わることができた。

また、上野の東京都美術館で行っている「マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展 一『印象、日の出』から『睡蓮』まで」は9月19日から12月13日までの76日間開催予定だが、すでに昨日までで32万8,000人を超える入場者を記録している。1日平均で1万人弱という水準で推移しており、予想以上の出足だ。

その他、音楽イベントなどが控えているが、それぞれの事業でもしっかりとファンの皆さんへの期待に応えていきたい。

3. その他

・巨人軍監督の交代について

原前監督に対しては、監督として素晴らしい実績を残し、本当におつかれさまでしたと労をねぎらいたい。また、高橋新監督については、待望の新監督だと思っている巨人ファンも多いのではないか。戦力を整えて、来シーズンはジャイアンツ日本一奪還を実現してほしいと期待している。

・「Hulu」に関して

Hulu のユニークユーザー数からは、海外ドラマや国内ドラマを織り交ぜ、バランス良く見られていることがわかる。日本ではなかなか見られない海外ドラマが見られるという会員の関心にも応えている上に、国内ドラマをリアルタイムで見逃しても Hulu で見ていただける。遡って2話3話と、最初から一気に見られるという、いわゆるオンデマンドの便利さもあり、いいバランスを保っていると思う。また「TVer」とのコンテンツの兼ね合いに関しては、それぞれの利用の仕方があるため、両立すると思っている。「TVer」は1週間だけの見逃し配信である一方で、Hulu は少なくとも一定期間、まとめて見ることができるくらいは置かれている。タイトルは同じかもしれないが、見られるものは相当違うということになっている。

視聴傾向としては、例えば地上波の連続ドラマの最終回前には、もう一度一気に見るなどして確認し、最終回はリアルタイムで見てもらえるということもあって、地上波にもい

い影響はあった。4月の「デスノート」などにその傾向が見られた。

これまでに Hulu と地上波の連動もいくつか試みたが、いろんなパターンがあると思うので逆に Hulu オリジナル作品も増やしていきたい。会員にならないと見られないものも必要だと考えている。また、新しい作品の発表の場としても考えている。来月からはオリジナルコンテンツの「フジコ」が配信されるので、ぜひ見ていただきたい。

【出席者】

大久保好男 代表取締役 社長執行役員

小杉善信 取締役 専務執行役員

丸山公夫 取締役 専務執行役員

(了)